



「みなと隆介の近況」

先週は朝の宣伝を4回実施。また6日は地域の後援会員さんなど訪問しました。最近は朝宣伝後に参加メンバーで写真撮影し、了解を得てツイッターに掲載しています。世代を超えて力を合わせる日本共産党の姿を多くの方に見ていただきたいし、この画像を見た方が「じゃ次は自分も行ってみようか」と思ってもらえたらうれしいなと思っています。

6日は後援会員さんなど100軒以上にご挨拶。「物価高で仕入値があがり大変」「大阪市のプレミアム商品券、申込電話が全然つながらない」「コロナ感染が怖く、なかなか出

ツイッターに投稿した記念撮影



歩けない」などのお声が寄せられました。1つ1つをしっかりと受け止め、頑張ります。

みなと隆介の視点

10月27日の大阪市会本会議で、松井市長が来年度の小学校給食費の無償化と、中学校のトイレへの生理用品の無償設置を表明。みなさんと日本共産党が求めてきたことが実現しました。この調子で788億円もの公金はカジノではなく、市民生活を支える



6日、訪問の最中に路地裏で撮影。統廃合対象の木川南小学校がいかに地域にとって大切な存在かがよくわかります。

各種施策（小学校の体育館へのエアコン設置、公園の整備、マンション老朽化対策など）や中小企業・スタートアップ企業応援に使ってほしいものだ、と考えるのですが、カジノ推進について吉村知事、松井市長や、維新・公明に翻意は期待できそうもありませんので、皆様と力を合わせて政治の有り様を変えることに引き続き全力を尽くします。

番外編

6日は日帰りで東京。党本部で「全国議員・候補者会議」に現地参加しました。党支部が赤旗読者や後援会の皆様とつながりながら様々な要望を集め、地方議員、国会議員と連携しながら1つ1つ実現していく、日本共産党の役割と価値を改めて実感しました。

みなと隆介の生い立ち④



突然ですが、小学校6年生以来の数年間、頻尿を経験しました。ある日、放課後の課外授業中にトイレを我慢しすぎて失禁したのがきっかけでした。思春期にはあまりにも恥ずかしくない出来事に、それ以来、特に容易にトイレに行けない状況であればあるほどトイレが近くなるという現象を経験しました。人の心って案外もろいし、人生って何があるか分からないと身をもって実感しました。周囲から見ればささやかなことかもしれませんが、全てを自己責任で片づける政治を変えたい、と思うきっかけの1つです。

(次回に続く)